様式１

令和　7　年　4　月　3　日

就労継続支援Ａ型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	みかんの樹
住　所	福岡県糟屋郡新宮町原上1223-4
電話番号	092962-0585

事業所番号	4010401000
管理者名	牛尾　拓郎
対象年度	令和5年度

地域連携活動の概要

＜活動内容＞

活動場所　：香椎丘リハビリテーション病院
実施日程　：平日　10:00～16:00
実施利用者：３名
業務内容　：介護補助業務・清掃業務
　　手すり、トイレ、洗面台等の環境整備
　　食器洗浄
　　浴室清掃
　　道具の準備・補充　　等

＜目的＞

介護士が行っていた雑務を担うことにより、介護士は直接的な介護に関わる時間を増やすことができる。利用者においては、施設外で働くことにより必要な社会スキルの獲得や作業技術の向上を図ることができる。

＜成果＞

一般就労に近い環境で働くことで、挨拶や突発的な出来事に対しての柔軟な対応など場面に応じた対応が可能となるなど社会スキルの向上が図ることができた。委託側（病院側）としては、介護士の業務を軽減することができ介護士が直接的な介護業務に従事する時間が拡大している。

＜活動の様子＞

連携先の企業等の意見または評価
(連携した結果に対する意見または評価や今後の連携強化に向けた課題など)

環境整備や備品の準備・補充を行ってもらうことにより、入院患者のよりよい療養環境の提供や職員の働く環境の整備に貢献していただいている。このことにより職員は実施的な療養上の世話に時間を配分することができ、サービスの向上に繋がっていると考える。また、障がいをもたれた方の働く姿をみることは入院患者にとっても励みになる。

連携先企業名	香椎丘リハビリテーション病院	担当者名	田中

様式１

令和　7　年　4　月　3　日

就労継続支援Ａ型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	みかんの樹
住　所	福岡県糟屋郡新宮町原上1223-4
電話番号	092962-0585

事業所番号	4010401000
管理者名	牛尾　拓郎
対象年度	令和４年度

地域連携活動の概要

＜活動内容＞

活動場所：令和健康科学大学
　　福岡県福岡市東区和白丘2丁目１－１２
実施日程：月～金曜日・月に1回土曜日
実施内容：調理・盛り付け・学食提供・清掃作業
利用人数：5名

＜目的＞

施設外にて作業を行うことにより、社会的コミュニケーション等の獲得、作業能力の向上を目的とする。また地域との繋がりを持つことで利用者の就労意欲の向上を図る

＜成果＞

施設外作業を行うことにより作業スピード・社会スキルの向上。また仕事に対しての責任感やお客様との関りが増えコミュニケーション能力の向上につながっている。
図れている。また、授産収入が増収し、利用者の賃金向上に繋げることができている。

＜活動の様子＞

連携先の企業等の意見または評価
(連携した結果に対する意見または評価や今後の連携強化に向けた課題など)

評価：ある程度固定されたメンバーで役割分担を通して行い作業を行うことで作業効率があがっている
課題：令和７年４月より、１～４年生までの学生が揃うことになり人数増加する。それに伴い学食提供数がさらに増えることが予測される。その中で、スムーズな対応を含めていかに効率的に作業が行え提供できていけるかが課題だと思われる。

連携先企業名	令和健康科学大学	担当者名	渡邉　孝司

様式２

R7　年　4　月　1　日

就労継続支援Ａ型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	みかんの樹
住　所	福岡県糟屋郡新宮町原上１２２３－４
電話番号	０９２－９６２－０５８５

事業所番号	4010401000
管理者名	牛尾　拓郎
対象年度	令和６年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

＜活動内容＞

場　所　　：虹の家弐番館　３Ｆ　会議実
日　時　　：令和7年１月１７日
指　導　者：作業療法士
参加利用者：５名
内　容　　：SST（ソーシャルスキルトレーニング）
　　対人関係での適切な対人行動についての基本的な知識について

＜目的＞

就労する上で、必ず他者と関りが生まれる。その中で、場面・場面に応じて適切な対人行動について考える

＜成果＞

実施していく中で、参加した利用者同士で自らの意見をみんなの前で徐々に伝えることができるようになってきた。その中で、適切な対人行動について考え理解してもらうことができた。

＜活動の様子＞

連携先の企業や事業所等の意見または評価

皆積極的に発言され意欲的に参加されていました。
利用者は社会での経験がまだ少なく働くうえで対人関係でのトラブル等いろいろ起こりうると思う。
今後、実際に行った事例・場面を活用し、SSTにて皆で振り返りや意見交換をしながら、適切な対人関係のスキルの向上を図っていくことが重要だと思います。

連携先企業（担当者）	作業療法士　國光

利用者からの意見・評価

・初めて参加して考え方や言葉の捉え方が違うから勉強になった
・社会にでても分からない事だらけだなと思いました。
・社会のルールについてくわしく知れて、勉強になって自分のためになってよかった
・今回、自分の間違えていることに気付かされた勉強会でした。
・理解する難しさを感じた

様式２－１

年　　月　　日

就労継続支援Ａ型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	みかんの樹
住　所	福岡県糟屋郡新宮町原上１２２３－４
電話番号	０９２－９６２－０５８５

事業所番号	4010401000
管理者名	牛尾　拓郎
対象年度	令和６年度

（Ⅰ）労働時間

①1日の平均労働時間が７時間以上		55
②1日の平均労働時間が６時間以上７時間未満		
③1日の平均労働時間が５時間以上６時間未満		
④1日の平均労働時間が４時間30分以上５時間未満	○	
⑤1日の平均労働時間が４時間以上４時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が３時間以上４時間未満		
⑦1日の平均労働時間が２時間以上３時間未満		
⑧1日の平均労働時間が２時間未満		点

①90点　②80点　③65点　④55　点　⑤40点　⑥30点　⑦20点　⑧5点

（Ⅱ）生産活動

①過去３年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上	○	60
②過去３年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上		
③過去３年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賃金の総額以上		
④過去３年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賃金の総額以上		
⑤過去３年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額未満		
⑥過去３年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額未満		点

①60点　②50点　③40点　④20点　⑤－10点　⑥－20点

（Ⅲ）多様な働き方（※）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		15
就業規則等で定めている	○	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている		
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている	○	
小計（注1）	5	点

（※）８項目の合計点に応じた点数　　（注1）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

（Ⅳ）　支援力向上（※）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		15
参加した職員が１人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
１回以上の場合	○	
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
１回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去３年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）	5	点

（※）８項目の合計点に応じた点数　　（注2）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

（Ⅴ）地域連携活動

地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10 点

1事例以上ある場合：10点

（Ⅵ）経営改善計画

経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	0 点

期限内に提出していない場合：-50点

（Ⅶ）利用者の知識・能力向上

前年度において、就労継続支援Ａ型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10 点

1事例以上ある場合：10点

項目	点数							
労働時間	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点
生産活動	-20点	-10点	20点	40点	50点	60点		
多様な働き方	0点	5点	15点					
支援力向上	0点	5点	15点					
地域連携活動	0点	10点						
経営改善計画	0点	-50点						
利用者の知識・能力向上	0点	10点						

合計
165 点　／２００点

様式２－２

就労継続支援Ａ型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

（Ⅰ）労働時間

前年度（　６　年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	36,535	時間

雇用契約を締結していた延べ利用者数	7,618	人

利用者の１日の平均労働時間数	4.8	時間

（Ⅱ）生産活動

会計期間（　４月～　３月）

前々々年度（４年度）

生産活動収入から経費を除いた額	38,389,490	円

利用者に支払った賃金総額	37,726,838	円

収支	662,652	円

前々年度（５年度）

生産活動収入から経費を除いた額	40,685,272	円

利用者に支払った賃金総額	39,474,908	円

収支	1,210,364	円

前年度　（６年度）

生産活動収入から経費を除いた額	43,359,970	円

利用者に支払った賃金総額	43,230,552	円

収支	129,418	円

（Ⅲ）多様な働き方

前年度（　年度）における取組（全体表「（Ⅲ）多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている ☑

②利用者を職員として登用する制度

◎利用者を職員として登用する制度を定めている ☑

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている ☐

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている ☐

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に係る労働条件を定めている ☐

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている ☑

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている ☑

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている ☑

（Ⅳ）　支援力向上

前年度（６年度）における取組（全体表「（Ⅳ）支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している ☑
◎外部研修、もしくは内部研修を１回以上実施している。 ☑
※研修名　令和６年度福岡県障がい福祉サービス事業所等支援員研修
研修講師　稲川　利光教授
実施日・受講者数　8 月　31 日　9 人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において１回以上発表している ☑
※研修、学会等名　第1回作業療法ヨーロッパ会議
実施日　10 月　17 日
※学会誌等名
掲載日　月　日
発表テーマ　Working is Living

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している
もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている ☑
※先進的事業者名
実施日/ 参加者数　月　日　人
※他の事業所名　道の家・ワークステーション八幡　キッチン創造館
実施日/ 参加者数　2 月　4 日　6 人

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会や展示会等へ１回以上参加している。 ☑
※商談会等名　健康フェスタ
主催者名　福岡和白病院
日時　11 月　2 日
内容　地域の方へ授産品の展示・販売

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している ☑
◎当該人事評価制度を周知している ☑
人事評価制度の制定日　H31 年　4 月　1 日
人事評価制度の対象職員数　19 名
うち昇給・昇格を行った者　0 名
当該人事評価制度の周知方法　業務マニュアル

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している ☐
◎当該ピアサポーターは「障害者ﾋﾟｱｻﾎﾟｰﾄ研修」を受講している ☐
※配置期間　月　日～　月　日
就業時間
職務内容

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去３年以内に福祉サービス第三者評価を受けている ☐
※評価を受けた日　月　日
第三者評価機関

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ＩＳＯが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている ☑
※認証を受けた日　月　日
規格等の内容

（Ⅵ）　経営改善計画

◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書を提出した。 ☐
※受理日　年　月　日

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。